

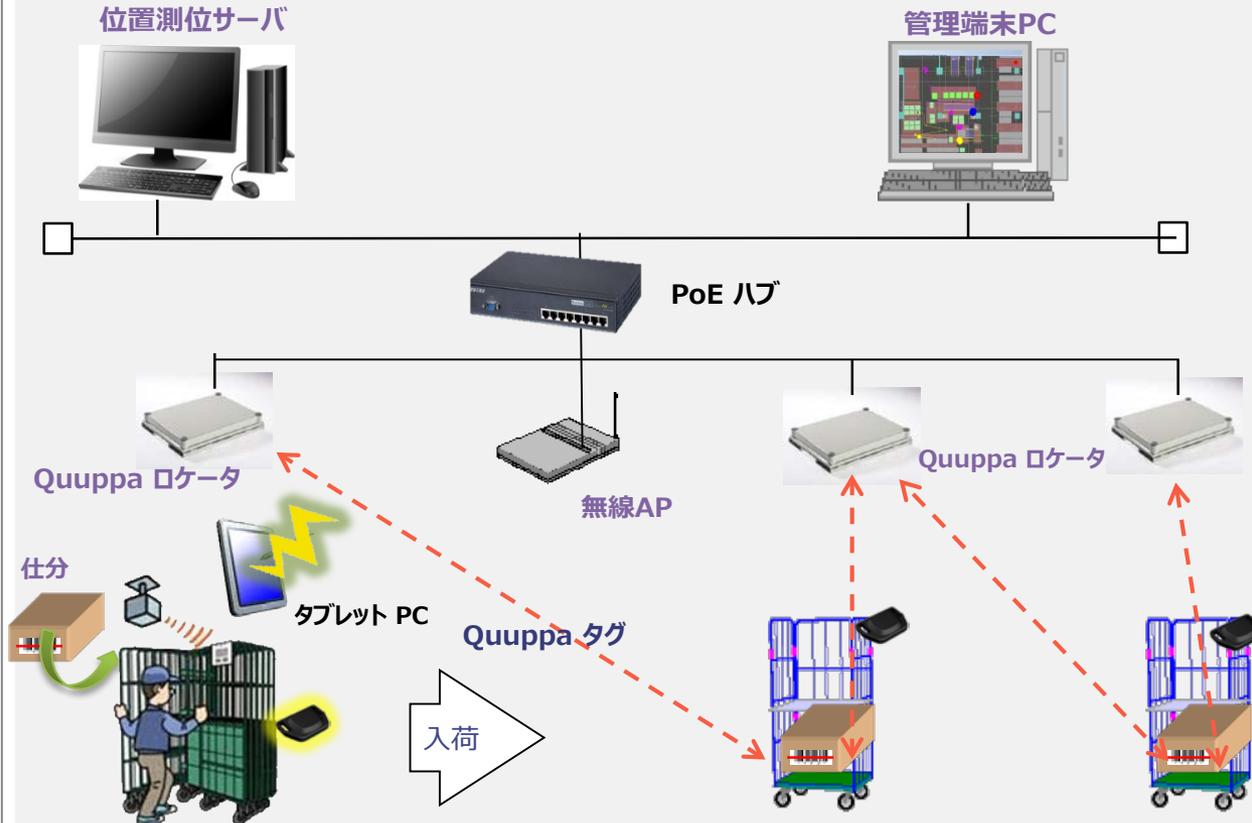
## 事例名：位置測位による所在管理システム

ユーザ名：某大手自動車部品メーカー

## システム概要

自動車部品を製造する工作機械を定期的にメンテナンスする際に、交換部品を台車に積んで作業をしている。工場に付けたセンサーを使って、タグが取り付けられた台車の位置情報を管理することで、交換部品の所在管理を行う。台車に積まれた交換部品の位置を明確にすることで、部品の紛失を防止しつつ、作業者の仕分け作業などの生産性を向上させる仕組みである。

## システム構成



## 構成機器

位置測位システム (Quuppa)

- ・ロケータ (短距離タイプ) x 30台
- ・POEハブ (BUFFALO) x 3台

所在管理システム

- ・サーバ (HP) x 1台
- ・タブレットPC (Apple) x 4台
- ・管理端末PC (NEC) x 1台
- ・無線AP (Cisco) x 3台

## 情報媒体

Quuppaタグ (アクティブ型BLE) x 300個

## システムの特長

工作機械の交換部品を工場に納品後は当システムで納品遅延、納品済みといったステータスが一元管理できるようになった。また、納品された部品は位置測位技術を使って、該当する品番の検索をかけると、工場内のどの場所におかれているかを一目で確認することも出来る。作業者は広大な作業場所において迷うことなく目的の部品を探し当てることができ、モノを探す作業時間の短縮（20%程度削減）を実現している。

## 導入の背景

外部から納品されてきた部品（数百個／日）をその都度受入れ担当が仕分け担当者へ渡し、仕分け担当者はその部品の置き場所を組立て担当者に聞き、その部品を200台程度の台車へ仕分けて入れる。総部品量数万個に対して、それぞれの作業ごとに担当者が別れていた為、部品の所在が不明確になり紛失する事態が発生していたため、その部品の所在をシステムを通じて明確にする必要があった。

## 課題

組立て責任者が不在の場合、その部品の所在が不明となり（年間100万円程度の損失）、作業担当者は判断が出来なくなる。作業待ちの状態となり、生産性が低下することが多くなる課題を抱えていた。

このシステムを導入することで、その業務を作業者の判断で移動台車（200台程度）への仕分けすることが可能となり、作業時間の短縮が図る必要があった。

## 課題の解決

納品された部品のステータスをシステム化する事で誰でもその状況を確認することができるようになった。作業の統一化が図れるようになり、経験者に依存しない運用が可能となった。モノを探す作業時間の短縮（20%程度削減）を実現している。

## 解決の効果

システム導入により、部品の紛失が減少（年間100万円程度の損失をゼロ目標）し、作業者が組立て責任者に部品の所在を伺うことがなくなったことで実際の作業時間を短縮（20%程度削減）することができた。

## 今後の展開

現在のメンテナンスエリアをさらに拡張して部品の納品管理や所在管理を行う。  
また国内にある他2工場にも同じシステムを導入する予定であるが、すべての工場の納品状況を一元的に管理を行うには、各工場の位置測位データを集約する必要がある。

## 導入実績

異業種メーカーのお客様で、アクティブタグを部品に取り付け位置測位技術を使って、所在管理ができることを応用し、入庫・出庫作業の時間を大幅に短縮できた事例もある。その他、位置測位技術及びアプリケーション開発を絡めた導入実績が複数ある。

## 参考URL

URL: [http://www.sato.co.jp/products/application/visualwarehouse\\_location.html](http://www.sato.co.jp/products/application/visualwarehouse_location.html)

## お問い合わせ先

株式会社サトー 営業本部 ソリューション事業統括部

TEL:03-5745-7433

URL: [https://www.sato.co.jp/cgi-bin/products\\_form.cgi](https://www.sato.co.jp/cgi-bin/products_form.cgi)